

3F自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

Table with 4 rows: 事業所番号 (0170401020), 法人名 (有限会社 ケアメール), 事業所名 (グループホーム しらかば 2階), 所在地 (札幌市西区西野二条五丁目五番三号), 自己評価作成日 (令和3年2月2日), 評価結果市町村受理日 (令和3年3月22日)

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

グループホームしらかばは、学生寮としての既存の建物を改築し平成16年よりグループホームとして運営している。周辺には、西警察署やコープさっぽろ、八木整形外科、コンビニ、小中学校があり利便性が高く、歴史ある住宅街の中にあります。利用者様のその日の心身状態を見極め、「希望」や「思い」を重視しています。毎月何らかの、季節に合わせたイベントを開催しています。今年度はコロナ禍ではありましたが、夏祭り、花火大会、敬老会、クリスマス会等開催致しました。利用者様、皆さまには趣味を持ち生き活きと暮らせる環境づくりを日々模索し、実践に繋げるよう取り組んでいます。また、法人内の研修への参加や定期的な勉強会の開催によりスキルアップを図っており、専門的な見解から学べる機会を設け更に学んだ事を自身が講師となり内部研修として他職員に発信する等情報を職員間で共有し、共に向上する機会を設けている。

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

Table with 2 columns: 基本情報リンク先URL, [https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action=kouhyou\\_detail\\_022\\_kihon=true&JigyosyoCd=0170401020-00&ServiceCd=320](https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_022_kihon=true&JigyosyoCd=0170401020-00&ServiceCd=320)

【評価機関概要(評価機関記入)】

Table with 3 rows: 評価機関名 (特定非営利活動法人 福祉サービス評価機構Kネット), 所在地 (札幌市中央区南6条西11丁目1284番地4 高砂サニーハイツ401), 訪問調査日 (令和3年2月24日)

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

事業所は、バス停が近く、家族が訪れやすい場所に立地している。また、医療機関やスーパー、コンビニ等がある住宅街に位置し、利便性にも優れている。ユニットごとに雑飾りを設けているが、1階に広いスペースの多目的室があり、寄贈である七段飾りのお雑飾りがより一層華やかな雰囲気を出している。コロナ禍により、様々な制約がある中、職員は家族との絆が途切れないう窓越しやりリモート面会の実施、事業所便りに個別の写真添えて日々の様子を伝えている。また、家族にコロナ禍に対するアンケートを行い、不安の軽減に取り組んでいる。例年の様な外出が困難な状況下にあるが、利用者が野菜を切り鍋パーティー、手作り弁当、出前寿司や出張握り寿司、手作りで羊羹などのおやつを作り、食の充実につなげている。利用者がずっとここで暮らしたいとの意向を受けとめ、体制が整った時点で尊厳ある看取り支援を開始し、職員は多くの学びを得ている。

Table with 4 columns: 項目, 取り組みの成果 (該当するものに○印), 項目, 取り組みの成果 (該当するものに○印). Rows 56-62 detailing service outcomes and staff performance.

## 自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I.理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念「地域に根差し、温かい福祉社会の実現を目指します」を事務所内に掲示し、毎日朝礼・夕礼で3モットー・理念の唱和をしています。	法人理念を基軸とし、さらに理念を具体化した3項目からなるモットーと1日の目標を掲げ実践に努めている。利用者を主体とした支援は、切れ目なく継続されている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	コロナ禍により、利用者様と一緒に地域の清掃に参加できないが、職員が参加している。また、行事での保育園の園児やボランティアの来訪が中止になり、交流が行われていない。	現在、地域交流は控えているが、地域の清掃活動は職員が参加し、廃品回収に協力している。小学校のベルマーク、ボトルキャップの収集への協力や周辺の清掃も続けて行っている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	町内役員の参加される運営推進会議において事例等開示している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に一度、運営推進会議を行い、意見交換を行っている。	書面会議を定期的に行っている。利用者状況やレク活動、ヒヤリハットや事故の状況と改善策、特定技能外国人実習生受け入れ、避難訓練、外部・内部研修等を議事録で報告し、推進委員から意見が寄せられている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議に地域包括センターの職員が参加があり様々な情報提供を受けています。	行政とは法人職員と管理者が担い、各担当者と事業所の実情を共有している。FAXや電話で報告や案件を相談している。包括支援センターからは、コロナ関連の情報や適切なケアに向けての研修案内が届き参加をしている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束のマニュアルをフロアに設置し理解を深め、定期的に身体拘束についてユニットで勉強会を行っている。毎日、朝礼・夕礼で拘束につながる適切なケアを唱和し、介護につなげている。	身体拘束をしないケアへの取り組みは、指針やマニュアルの整備、身体拘束等適正化委員会や内部研修を定期的に行っている。職員アンケート実施後に話し合い、また、外部研修に参加をするなど、正しい理解に努めている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	勉強会や研修に参加し学んでいます。職員間で情報を共有し防止につなげています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	外部研修会へ参加し学んでいます。さらに学べるように勉強会を行い、活用に結び付けています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約には十分な時間をとり、不安な点や疑問をうかがいながら進めています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族様の意見を基に全職員で話し合い、意見を反映させている。	事業所便りは、毎月ユニットごとに作成し、さらに個別の写真を添えて家族に送付している。コロナ対策に対して家族にアンケートを取り改善を図るなど、出された意見や提案を受け入れている。利用者からの意見はない状況にある。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月に1回ユニット会議を行い、幅広く職員からの意見や提案を受けている。また個別に面談にて意見を聞き取り早急な対応を心がけている。	職員は、業務上や会議で運営に対して意見や提案を述べている。提案により感染予防対策の観点から食事時間は同席せず、見守りながら別の場所で食事を摂っている。年2回、管理者による個人面談で個人目標の進捗状況を確認している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年2回の個別面談を行い、向上心を持って働けるよう具体的な個別目標も設定し管理者と共に目標に向かって努力するように働きかけている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修の情報を開示し参加を募っている。また内部研修で外部の講師を招き介護技術等の研修を実施しケアに結びつけられるようにトレーニングしている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	西区の管理者会議に参加している。(今年とは中止)近隣のグループホームと交流しサービスの質の向上を図る		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用前にご本人と面談を行いご本人にとって不安な事や要望、ご家族への遠慮から言えなかった事を聞き取り、ケアマネジャーと情報を共有し安心して暮らせる関係づくりに取り組む		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	利用前にご本人・ご家族と面談を行い不安な事や要望を聞き取り、ケアマネジャーと情報を共有している。またご本人の前では話せない事は個別にて対応するように心がけている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人・ご家族の要望に対して必要性を見極め対応し、ほかのサービスの導入についても検討対象に含めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日常生活の中で、理解力・身体機能を把握し、生活の一環として、食器拭き・掃除・洗濯物たたみ・縫物等、ご本人様の好まれる作業を身体状況に合わせ、幅広く提供している。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	利用者様の行動や言動の変化、また体調の変化を見逃さず、情報を家族様と共有し良好な関係を築いています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの人や場所との関係継続が出来るように、家族や知人も支援者に加え連絡を取り合い支援に努める。	家族には、事業所便りや個別の写真、運営推進会議録で利用者の様子を報告している。自粛の中でも、窓越しやリモート面会でお互いに顔を見れる環境を作るなど、家族との関係性を大事にしている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様同士が良い交流が出来るように、共通の話題を提供したり、席の配置を工夫したり、職員も会話に加わり孤立しないよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後もご家族からのご相談を受けたり、ご本人の様子を伺ったり支援に努めている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の生活の中で、ご本人の言葉・表情・行動から思いを汲み取り、希望・意向に添った対応を心掛けている。家族様に協力を仰ぎ、アセスメントシートを作成している。	介護記録には、利用者の状態と職員の視点や気付きを記入する欄を設けている。意思疎通が困難な利用者には、家族からの情報やふとした言葉、表情から思いを読み取り、満足感が得られるよう職員間で協議している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	サービス利用開始時に作成した、アセスメントシートを確認、理解し馴染みの暮らしが出来るように努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ご本人の意向を伺い、一日の活動に取り入れています。表情や会話から心身の状態を確認する様に努めています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	6ヶ月毎、または必要に応じ都度見直しを行っている。カンファレンスでの検討内容を基に、担当職員とケアマネージャーがモニタリングを行い、次の計画を作成している。	毎月、カンファレンスで利用者の状況確認を行っている。定期的なモニタリングやアセスメントを経て、6ヶ月ごとの見直し時や、状態変化時には、利用者や家族の要望、医療関係者の意見も反映してケアプランを作成している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別にファイリングし、プランに沿った生活の様子を記録している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	急な外出や夜間の対応に柔軟に対応し、家族様の意向に添えるように取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	近所のスーパーやコンビニ等に職員同行の上で出かけ、出来る限り地域資源を把握出来るよう支援に取り組んでいる。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者様は月に2回の訪問医の受診を受けています。希望の医療機関への受診は、家族様・管理者・職員等が対応し、情報を共有しています。	受診する医療機関は、利用者や家族の意向を優先している。現在は、利用者全員が月2回の訪問医を主治医とし、診療結果は医師から書面で家族に報告している。他科受診は、家族と職員が協力して支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	朝夕のバイタル測定や表情の動き、訴え、入浴時の皮膚観察からの気づき、情報を看護職員に相談し、適切な受診や看護を受けられるように支援している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院中には家族様や病院職員からご本人様の様子を伺ったり、お見舞いに伺ったりし対応している。情報交換と相談を行い、ほかの職員にも伝えている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所できることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	事務所の対応できる事柄をご家族に説明し納得を得ている。看取り希望には、関係機関と連携して体制と整えて対応している。	重篤時の対応は、入居時に指針で説明し、同意を得ている。利用者の終末期に対する意向は、さり気なく聴いたり汲み取ることで把握している。医療関係者や家族と方針を共有し、体制が整った時点で、看取り支援の開始としている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	定期的な勉強会や研修会を行っている。緊急対応マニュアルをいつでも見れるように配置してある。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的に避難訓練を実施しています。消防署や関係各所との意見を聞き、非常用持ち出し袋・災害時の備蓄品の準備を行っている。	年2回の日中・夜間想定避難訓練後に勉強会を行い、反復して改善等に生かしている。洪水時の対応やケア場面想定も、マニュアルに沿って図上訓練を行うなど、危機管理を高めている。備蓄品の用意も順次行い、非常時に備えている。	公的避難場所への実践的訓練や火災時の一時屋内避難場所の確認と、加えて感染症対策も視野に入れた取り組みに期待する。
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	毎日、個々の生活を尊重すると言う理念を唱和している。利用者様への呼びかけは名字や名前に「さん」を付けて呼んでいます。表情や言動で利用者様の意思をくみ取り、声掛けや時間・職員を変えての対応を行っている。	利用者信頼関係の構築に努めているが、一方的な思いではないかと常に模索しながらケアに当たっている。不適切なケアがあるときは、管理者や職員間でも注意を促している。個別の書類は事務所で保管し、伝達時は固有名詞を出さない等、意識統一に努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者様の思いや要望を出来る限り尊重し、都合がつかない場合には説明し、早い時期に実現するように努めている。わかりやすい言葉・表現・動作などで働きかけ自己決定が出来るように支援を行っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者様の要望に出来るだけ沿えるように柔軟に対応し、趣味嗜好等の情報収集に努め、利用者様のペースで穏やかに過ごせるように対応している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	衣類は職員とコミュニケーションと取りながら、出来るだけご本人様に選んで頂けるように支援している。2か月に一度、訪問美容を手配し、ご本人の意見を聞きながら支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	セツング前後のテーブル拭き、食後の食器拭きやトレ拭き、盛りつけなど、利用者様の体調や身体能力に応じた手伝いをして頂いている。	食事は業者から届いているが、利用者の要望は献立に組み込まれている。ときには、手作り弁当や出張握り寿司、利用者が野菜を切った鍋パーティー等で、外食の気分を味わっている。月1回、手作りの食事を検討している。おやつは手作りで羊羹等を作っている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	好きな飲み物等を把握し、水分が少ない時は好きなものを提供し飲んで頂いたり、食事は一人ひとりが食べやすいように一口大に切る等の工夫をしたり、声掛けを行いバランス良く食べられるように支援しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	声掛け誘導、一部介助、全介助など一人ひとりの能力に応じたケア支援を行っている。口腔内の確認を行い磨き残しがある場合は職員が磨き直しを行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄の誘導が必要な利用者様には、排泄版のデータを基にパターンを把握し、プライバシーに注意してトイレでの排泄を支援している。また日中はなるべくパットの使用を減らしたり、小さなパットを使用したりと工夫しこまめにトイレ誘導しています。	自力排泄への見守り、2人介助でトイレへ、ベッド上での交換が主であっても「トイレに行きたい」との訴えに、日中はトイレでの排泄支援を行っている。衛生用品は、家族と相談して適切な製品を使用している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分を十分に摂る様に促し、食事の際はよく噛んで食べてもらうように声掛けを行い、1日1回は体を動かしてもらうように、レクや体操を実施している。医師・看護師と連携を取り指示の基、下剤調整し服用している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	利用者様の体調や希望により柔軟に時間帯や曜日の変更を行い、利用者様のタイミングで入って頂けるように声掛けし、入浴を楽しめるように支援をする	大浴槽と機械浴があり、3ユニット共有とし、身体状況に応じて週2回を基本に入浴支援を行っている。要望でシャワー浴もあり、また、拒否がある場合は、清拭で保清に努めている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中は傾眠されている方には、居室での臥床を促し、夜も一人ひとりにあった入床の声掛けを行い、一人ひとりの生活習慣やその時々状況・体調に応じて支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	フロアに薬剤情報提供書を配置し、薬の目的、用法や用量をいつでも確認できるようになっており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりに合った得意な家事を行って頂いたり、歌を唄ったり、体を動かしたり、好きなレクを行い、役割や楽しみごとの支援を行う事で、不穩の解消や気分転換につなげて頂いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	近隣のスーパーマーケットやコンビニに職員同行でされています。季節ごとに外出レクを楽しまれ、外食レクでもレストランで食事をされていますが、今年はコロナ過の為実施できていません。	コロナ禍に伴い外出も制約があるが、玄関前の花壇を眺めて息抜きをしている。例年は、毎月外出レクを企画し、ドライブがてら紅葉狩り等を楽しんでいる。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご家族と連絡を取りながら、できない方はホームで管理支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	ご家族の電話や手紙、年賀状などの提出の支援している。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関は暮らしがわかるような写真を展示し、廊下・居間は季節を取り入れた飾りつけで四季を感じられるように工夫している。職員の声の高さ・音・室温・明るさ・陽光などに気を配り、季節ごとの花や壁を楽しんでいただいている。	装飾担当職員により玄関には写真を掲示し、季節感ある飾り付けを行っている。居間には、利用者の作品である習字や折り紙のお雛様が壁に飾られ、華やかな雰囲気を出している。生活環境に配慮があり、寛げる空間になっている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	居間の隣に台所があり、1人になりたい時はの食卓イスに座ったり、居室で過ごされています。居間にはソファが3つあり、気の合った方同士で座れるスペースがあります。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	なじみのある家具や好みの物を置いたり、家族の写真を見える所に飾ったりして、ご本人が居心地よく安心して過ごせるような工夫をしている。ご家族様の提案を参考に、利用者様と職員で飾りつけている。	ベッドや押し入れを設置している居室には、タンスや鏡台、仏壇、本人にとって安心できるシルバーカー等が動線に配慮して置かれている。写真や壁飾り等がアクセントになっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	過剰な支援は控えご本人が出来ること、わかることの情報職員間で共有し自立した生活が出来るように工夫している。		